

群馬県のチョウの現状と保全

- これ以上、群馬から絶滅種を出さない為に -

日本チョウ類保全協会 副代表理事 松村 行栄

群馬県では約 140 種のチョウ類が記録されている。しかし、既に 10 種以上が絶滅してしまっただけでなく、絶滅種を出さないために各地で保全活動が開始されている。保全を成功させるためには組織の編成とモニタリングが重要である。

群馬県の絶滅種(2009年)

今回ランク	判定方法	前回ランク	種名	現在も定着して発生している産地(市町村)	現在減少傾向にある産地(市町村)	絶滅したと考えられる産地(市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策など)
EX	A	EX	ヒメシロチョウ			甘楽郡下仁田町、吾妻郡(中之条町、碓氷村、高山村)、利根郡みなかみ町	1996年(碓氷村)以降記録なし、再調査により再発見の可能性はある	山地草原の開発による発生の消失	群馬県評価:絶滅危惧Ⅰ類
EX	A	EX	ヒメヒカゲ			甘楽郡下仁田町、吾妻郡(長野原町、碓氷村、六合村)	1977年(六合村)以降記録なし	キャンプ場造成のため発生の消失	群馬県評価:絶滅
EX	A	EN	クロヒカゲモドキ			吾妻郡(中之条町、長野原町、東吾妻町)、利根郡みなかみ町	1992年(みなかみ町)以降記録なし、再調査により再発見の可能性はある	山地の開発による生息地の縮小	群馬県評価:絶滅危惧Ⅰ類
EX	A	EX	ヒョウモンモドキ			渋川市、吾妻郡(富士見村、吾妻町(中之条町、長野原町、碓氷村)、利根郡(昭和村、みなかみ町))	1976年(碓氷村)以降記録なし	山地草原の開発	群馬県評価:絶滅
EX	A	EX	オオウラギンヒョウモン			高崎市、碓氷市、吾妻郡(碓氷町、利根郡みなかみ町)	1959年(碓氷市)以降記録なし	山地草原の開発	群馬県評価:絶滅
EX	A	EN	オオイチモンジ			利根郡川場村	1987年(川場村)以降記録なし、再調査により再発見の可能性はある	生息環境の急変	群馬県評価:絶滅 群馬県指定天然記念物(1977年)
EX	A	EX	シルビアシジミ			前橋市、高崎市、伊勢崎市、碓氷市、藤岡市、利根郡みなかみ町、吾妻郡(飯倉町、大泉町)	1963年(藤岡市)以降記録なし	堤防改修による食草の減少	群馬県評価:絶滅危惧Ⅰ類
EX	A	EX	オオルルシジミ			甘楽郡下仁田町、吾妻郡(長野原町)	1970年(北軽井沢)以降記録なし	山地草原の開発	群馬県評価:絶滅
EX	A	EN	クロシジミ			前橋市、碓氷市、太田市、碓氷市、渋川市、藤岡市、吾妻郡(富士見村、利根郡(片品村、みなかみ町))	1987年(駒川村)以降記録なし、2008年に再発見されたとの噂がある	雑木林の喪失、農業用中散布により絶滅、宅地開発	群馬県評価:絶滅危惧Ⅰ類
EX	A	EN	チャマダラセセリ			沼田市、吾妻郡(長野原町)	1966年(沼田市)以降記録なし	生息に適した草原の消滅	群馬県評価:絶滅危惧Ⅱ類

33%が絶滅の危機

群馬県のレッドデータ種(2009年)

- ¥ 絶滅(EX) : 10種 (2003年 6種)
- ¥ 野外絶滅(EW) : 0種 (2003年 0種)
- ¥ 絶滅危惧Ⅰ類(EN) : 12種 (2003年 13種)
- ¥ 絶滅危惧Ⅱ類(VU) : 10種 (2003年 9種)
- ¥ 準絶滅危惧(NT) : 11種 (2003年 4種)
- ¥ 情報不足(DD) : 3種 (2003年 2種)

日本産チョウ類の衰亡と保護 第6集 (日本鱗翅学会)

これ以外にもツマグロキチョウ、ゴマシジミが絶滅したと思われる

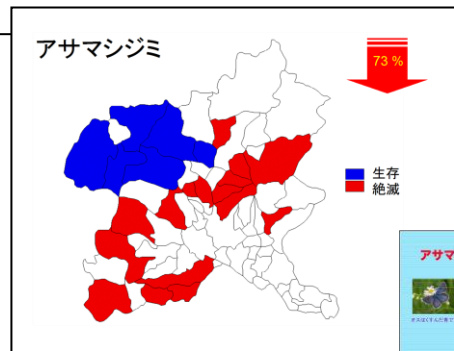
開始された保全活動

アサマシジミ



過去の生息地
伊香保町
富士見村
赤城村
藤岡市日野
大間々町
昭和村 等

衰退の原因
別荘地化
宅地化等による
食草の減少



アサマシジミをさがしてください!

WANTED

アサマシジミをさがしてください!

群馬県には約140種類のチョウがいますが、そのうち約40種類が絶滅しました。もうこれ以上、絶滅させまいにいただきます。絶滅を防ぐためにアサマシジミの生息場所を保護していくことが必要です。

アサマシジミの生息場所をさがす

群馬県立自然史博物館・群馬昆虫学会

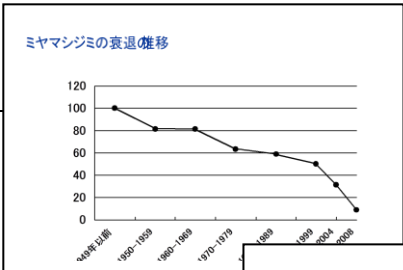
群馬県立自然史博物館による調査

ミヤマシジミ

過去の生息地
桐生市渡良瀬川
玉村町利根川等



衰退の原因
堤防の改修
近隣雑木の伐採
による環境変化

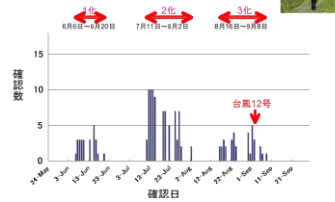


高崎市倉淵公民館による保全

ミヤマシジミを守る会準備会

高崎市倉淵公民館
2011年度 優良公民表彰(文部科学大臣)


2011年の確認数



6月10日-6月20日: 2匹
7月1日-8月2日: 2匹
8月10日-9月1日: 3匹

確認日

高崎中学校生は「ミヤマシジミ」を育ててくれた!

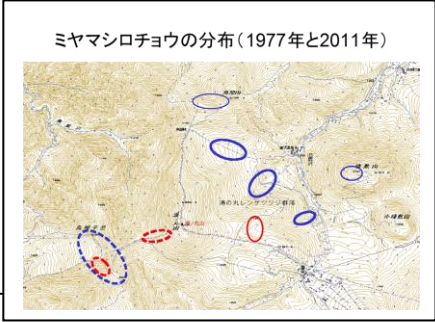


ミヤマシロチョウ

湯の丸レンゲツツジ保存会「高山蝶保護班」の発足準備



衰退の原因
生息地の開発
(スキー場化)等
による食草の減少、
環境の変化



越冬巣の数(メギ 約120株)

年度	2009年	2010年	2011年
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
合計	4	29	76

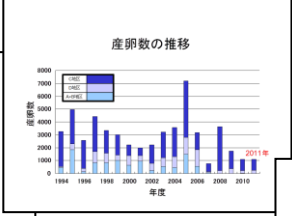
孺恋村教育委員会による保全

ヒメギフチョウ

過去の生息地
渋川市、沼田市、
みどり市、勢多郡
富士見町、甘楽郡
下仁田町、吾妻郡
(中之条町、孺恋
村)、利根郡昭和
村



衰退の原因
台風による産地の
消失、森林の伐採、
環境の変化



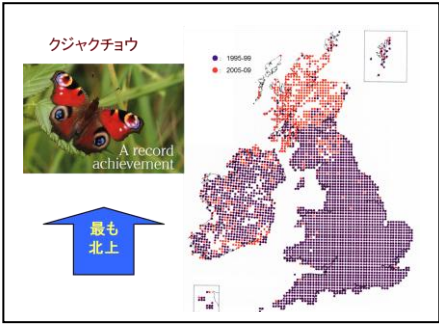
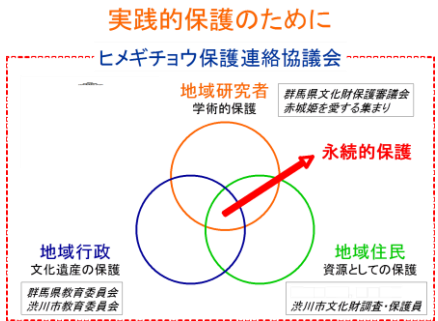
ヒメギフチョウ保護連絡協議会
による保全

ヒメギフチョウ保護連絡協議会

「ヒメギフチョウ」保護管理計画書 策定



組織編成とモニタリング



モニタリングにより
始めて変化がわかる